

## 4日 金曜

### ルカ

18:18 またある役人が、イエスに質問して言った。「尊い先生。私は何をしたら、永遠のいのちを自分のものとして受けることができるでしょうか。」

18:19 イエスは彼に言われた。「なぜ、わたしを『尊い』と言うのですか。尊い方は、神おひとりのほかにはだれもありません。

18:20 戒めはあなたもよく知っているはずで、盗んではならない。殺してはならない。偽証を立ててはならない。父と母を敬え。』」

18:21 すると彼は言った。「そのようなことはみな、小さい時から守っております。」

18:22 イエスはこれを聞いて、その人に言われた。「あなたには、まだ一つだけ欠けたものがあります。あなたの持ち物を全部売り払い、貧しい人々に分けてやりなさい。そうすれば、あなたは天に宝を積むことになり、そのうえで、わたしについて来なさい。」

18:23 すると彼は、これを聞いて、非常に悲しんだ。たいへんな金持ちだったからである。

18:24 イエスは彼を見てこう言われた。「裕福な者が神の国にはいることは、何とむずかしいことでしょう。」

18:25 金持ちが神の国にはいるよりは、らくだが針の穴を通るほうがもっとやさしい。」

18:26 これを聞いた人々が言った。「それでは、だれが救われることができるでしょう。」

18:27 イエスは言われた。「人にはできないことが、神にはできるのです。」

18:28 すると、ペテロが言った。「ご覧ください。私たちは自分の家を捨てて従ってまい



りました。」

18:29 イエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに告げます。神の国のために、家、妻、兄弟、両親、子どもを捨てた者で、だれひとりとして、

18:30 この世にあってその幾倍かを受けない者はなく、後の世で永遠のいのちを受けない者はありません。」

「裕福な者が神の国に入る」ことのむずかしさを、イエス様は言われます。しかし、どんなにむずかしくとも「神にはできる」と宣言なさいます。救いが一方的に神様のみわざであることを考えるなら、どんなにむずかしい人でも神様にはできると考えるべきです。

また貧しい人は救われることが簡単かと言うと、人は罪ゆえに救いには絶望的なのですから、簡単というわけではありません。金持ちも貧しい人も「神の国にはいること」はむずかしいのです。

ここで分ることは、「そのようなことはみな、小さい時から守っております。」という人のむずかしさであり、青年は金持ちであるがゆえの欠けが、その生き方にあったのでした。

自分の立場や境遇やまたは権利などから、自分に与えられている使命があるのに果たせていないことはないでしょうか。また、他の人もしていないから…と、自分の使命に気づいていないことはないでしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

